

# 寄り添う医療

## ～東日本大震災の体験を通して～

日時：平成25年7月20日（土）

午後2時～3時30分

場所：岡山衛生会館 5階 中ホール

TIME誌「世界で最も影響力のある100人」に選ばれた菅野武氏の講演



公立志津川病院に勤務されておりましたが、海岸近くにあった病院は、4階まで浸水し、多くの患者さんが命を失いました。菅野氏は、患者救済に奮闘し、その活躍ぶりが評価され米国タイム誌の「2011年度の世界で最も影響力のある100人」に選ばれました。その奮闘ぶりを災害に対するお聞きし、認識をより深めていきたいと思えます。



菅野武先生：34歳：内科医。仙台市生まれ。東北大学大学院医学系研究科消化器病態学博士課程。2005年自治医大卒。2009年より公立志津川病院内科に勤務。その後、東北大学院に進学予定であったが、4月中旬まで南三陸町の医療統括本部で、診療体制復興のための調節業務に従事した。

～本文より抜粋～

濁流はさらに水位を上げ病院の4階天井近くまで来た。津波が足元わずか数十センチまで押し寄せてきて、私は自分の死を今までにないほど強く、身近に感じた。・・・中略・・・普段外している結婚指輪を財布から取り出し、左手にはめた。もし自分が死んだら家族が私をみつけられるように、と。



尚、事前申込者のうち先着70名様に、講師の著書である「寄り添い支える」を無料で差し上げます。

参加費無料

会場にて救済支援の募金を受付けます

参加は裏面よりお申し込み下さい

主催：岡山プライマリ・ケア学会・岡山県医師会